



平成22年度
食と農林漁業再生実現会議
「 幹 事 会 」

平成23年1月7日(金)AM8:00
株JAシンセラ 常務 佐々木 廣

(株)JAシンセラの概要

- 平成17年3月1日設立 本体との役割分担
- シンセラとはラテン語で、誠意・誠実・真心
- JAいわて中央100%出資の子会社
- 資本金6,000万円
- 産直・仕出し・葬祭・生花の4事業
- 従業員数115名
- 平成21年度取扱高 19億1千3百万円
- 内産直事業取扱高 8億4千9百万円
- 当期純利益 4千3百万円



地産地消の4本柱

- 農産物産地直売所
サン・フレッシュ都南
- 加工品開発販売
ジェラートシリーズ 石垣島・山菜・花
もちモチシリーズ おせち
- 学校給食・外食産業食材供給事業
矢巾町1日3,000食の食材100%供給
外食産業へ直取り・月次支払いシステム
- 食育＋グリーンツーリズム
学校では子供・直売所では大人
直売所のお客は食生活のリーダー



小規模農家の問題点

- JAを頼りにしている。(大は自立・中はJA)
- 産直の平均年齢は10～15歳に(淘汰・高齢化・改装)
- 店舗過剰(小型・当番・無報酬)
- 異業種から直売所への新規参入(組合員の奪い合い)
- 加工部門の取組がわからない(女性企業)
- 午後及び冬場の品揃え(寒冷地)
- リニューアルの時期に来てる(資金)



小規模農家の改善点

- JA本体は共選共販・子会社は地産地消を(会社内)
- 産直の大型化(役割分担・賃金・品揃え・立地)
- 小型店舗は地元障害者施設との連携
- 産直の特徴を前面に出す(旬・完熟・鮮度と4本柱)
- 6次産業化支援アドバイザー(普及所・営農指導)
 - 1) 温暖化を追い風に新品種・出荷時期の拡張
 - 2) 加工部門への進出支援
 - 3) 販売手法の研修・支援
- 安定出荷対策(少量他品種から特定品種作付けに)



さいごに

- 農業もビジネスとして確立しないと、長続きせず後継者も出来ません。
- 売上向上が元気の源です。
- 農業には作物を育てるという楽しみも有るので、多くの利益は望みませんが、再生産出来る価格で販売出来れば良いのです。
- そんな思い出でシンセラは、産直組合員に期待されるような業務に取り組んでおります。

